

牛久：学校周辺に見る自然

第12号 牛久二中

2012年6月19日発行

< トンボじゃないけど「ツノトンボ」。 >

つゆいりし、むしあつい
梅雨入りし、蒸し暑い6/18朝、牛久二中ビオトープで、また珍しい昆虫を見つけました。

本当は、ショウジョウトンボが飛んでいるのが見えてカメラを取り出したのですが、準備の間に見失い、がっかりしていたところに、このキバネツノトンボを見つけたのでした。トンボといっても、アミメカゲロウ目、ツノトンボ科で、ウスバカゲロウ（ありじごく）に近い仲間なのです。「牛久市広報4/15号・お知らせ版」で紹介されていて、ぜひ見てみたいと思っておりましたが、こんなに早くお目にかかれるとは思わず、うれしかったです。【理科支援員：宮内】

発生期間が短く（4～6月）生息地も限られるため、なかなか目にすることができない、キバネツノトンボ。



トンボといっても、アリジゴクに近い仲間。じっと止まっていてくれて、横から（左）、上から（中）、腹側から（右）と、いろいろな角度で写せました。